

工場のDX化を実現 Manufacturing DX ～OKI本庄工場事例：行為判定システム～



人手を介する作業の「ばらつき」が多く、品質基準を満たさない

作業漏れや作業順序の間違いを検知出来ず、製品不具合を起こすリスクがある

人手作業の証跡管理が出来ていない



OKIの映像解析技術を用いて作業内容・作業手順の正しさを判定。
現場へのリアルタイムな結果通知と作業内容の証跡化をおこなうことで、
より高品質なものづくりを支援します。

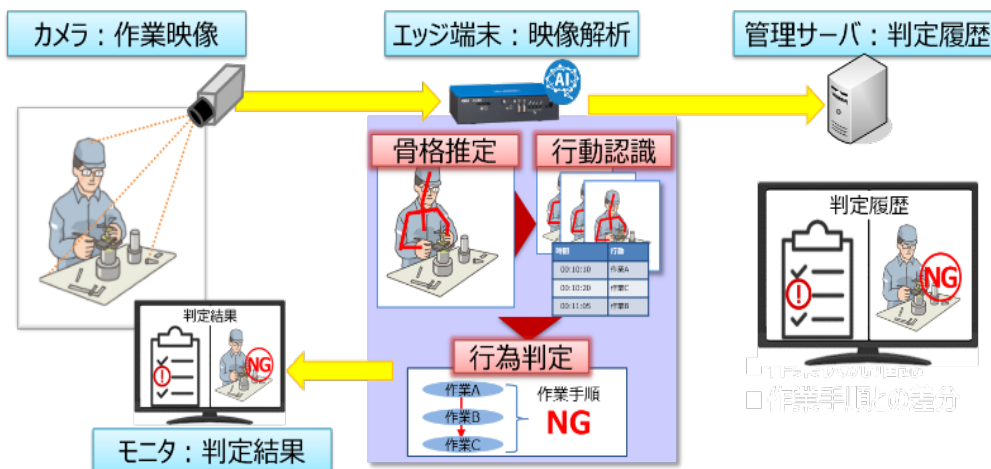
概要/特長

概要：

- カメラで撮影した作業者の作業映像をエッジ端末で解析。作業内容と作業手順を認識することで作業行為の正しさをAIが判定。

特長：

- 作業内容や手順をリアルタイムに判定することで品質向上を支援。
- 作業履歴による「ものづくり品質」の証跡化。



利用シーン

■ OKI本庄工場での利用シーン

PHS組立工程において、組立時に行う異物を除去するためのエア吹き作業に対して、行為判定システムに取り組んでいます。手順通りに行ったかどうかを判定することで、作業漏れの防止、後工程への不良流出を防止します。

■ 作業者の作業行為自体の良否にて品質を担保している工程に適用可能

ネジ締め／組付け順序のチェック
間接剤の塗布
貼り付け前処理のアルコール拭き



PHSエア吹き作業

■ お問い合わせ

沖電気工業株式会社
エンタープライズソリューション事業部 SE統括部
インダストリアルソリューションSE部

kouihantei-helpdesk@oki.com

■ 参考動画

【OKI 動画ライブラリー】
工場のDX化を実現するManufacturing DX
～OKI本庄工場事例行為判定システム～
<https://video.oki.com/jp/detail/video/6316862624112>

